

2020 年 6 月 25 日

通貨ニュース

タイ: 6 月金融政策委員会～政策金利は 0.50%で現状維持

タイ中央銀行(BOT)は 6 月 24 日に金融政策委員会(MPC)を開催し、政策金利を 0.50%に据え置いた(図表 1)。MPC では 7 人の委員が全会一致で政策金利の現状維持に賛成した。なお、ブルームバーグの事前予想でも現状維持が優勢であり 26 人中 22 人が現状維持としていた。BOT は今年に入り 3 度の利下げ(計 75bps)を実施していた。

タイ経済について声明文では、前回 5 月会合時に続き、世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化し、製造業をはじめとする輸出産業や観光業を中心に予想以上の悪影響を受けている点に言及した。また、BOT は、内需や企業の投資活動にも減速が見られた点を指摘し、今後の国内の雇用環境の悪化にも懸念を示した。今回はこれに加え、20 年、21 年の景気見通しを更新している(図表 2)。これによれば、20 年の経済成長率は 3 月時点から前年比▲5.3%から▲8.1%に下方修正されているほか、消費者物価上昇率(CPI)に関しても前年比▲1.7%とマイナスに転落し、BOT の目標レンジ(+1.0~+3.0%)を大幅に下回る見通しが示されている。一方、21 年の経済成長に関しては上方修正されており、CPI に関してもプラスに回復するとしている。

今後に関しても、声明文では、既に決定済みの財政・金融政策によって、企業や家計の債務負担を和らげ、資金供給が円滑化されている点に言及した。必要に応じて適切な金融政策を用いることで景気悪化の影響を軽減させていく姿勢も強調し、従来からのスタンスを維持した格好となった。

THB は、前回 5 月の会合から引き続き堅調な値動きを見せている(図表 3)。新型コロナウイルスによるロックダウンが解除されて、世界で経済活動が再開された中、金融市場でのリスクオフムードが徐々に薄れていった点が大きな要因だ。特に、新型コロナウイルスの感染拡大が比較的落ち着いている ASEAN 通貨に対しては、概ねドル安傾向が続く。タイにおいても、国内の経済は段階的に再開され、7 月にはビジネス目的をはじめ、一部外国人渡航者の入国を容認することとなっている。この点も THB の値動きをサポートするものと考えられる。

その一方、図表 2 によれば、経常黒字が前年比 4 割程度まで縮小する見込みで、更なる下方修正の可能性を警戒しておきたい。その理由として、第一に BOT は今回、自国通貨高により貿易収支改善が遅れる可能性を指摘している。5 月の輸出(通関ベース)は前年比▲22.5%と予想以上の悪化をみせ、09 年 7 月以降最大の落ち込みを記録した。タイは域内最大の経常黒字国で、自国通貨高に動いて相対的に輸出競争力が弱まりやすい。20 年の輸出は前年比▲10.3%の減速と予想しているが、減速が深刻化する可能性も懸念される。第二に、観光や物流の取引を示すサービス収支に関しても、来訪客数が前年比約 2 割の水準となる見込みだが(図表 2)、海外で新型コロナウイルスの感染第二波の懸念が高まれば来訪者の落ち込みが更に深刻化する可能性もある。

市場営業部

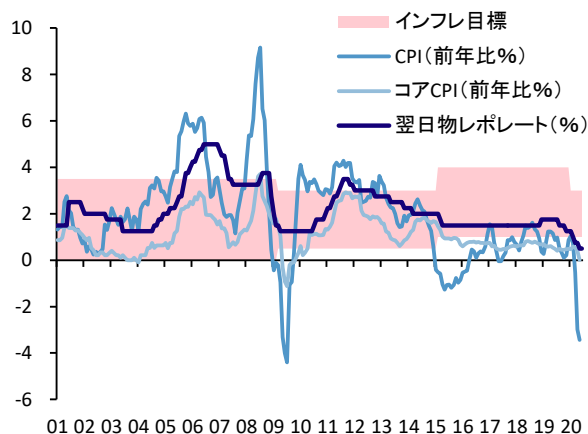
堀 堯大

03-3242-7065

takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

したがって、BOT の今後の政策運営として、国内景気回復の動向を注視するとともに、THB 高が継続した場合には、THB 高をけん制するような動きも想定される。しかし現状、政策金利はゼロに近づいており、図表 2、4 に示されるように低成長・低インフレが継続する見込みながらも、追加利下げの余地は限定的となっている。かかる中、域内ではインドネシア中銀が国債を買い入れる量的緩和に踏み込んだ事例があるように、タイにおいても今後、BOT が非伝統的な緩和手法に着手していくのかといった点も大きなトピックとなっていくだろう。

図表 1: タイの政策金利とインフレ率



出所: タイ中央銀行、タイ商務省、CEIC、みずほ銀行

図表 2: 2020 年、2021 年の景気見通し

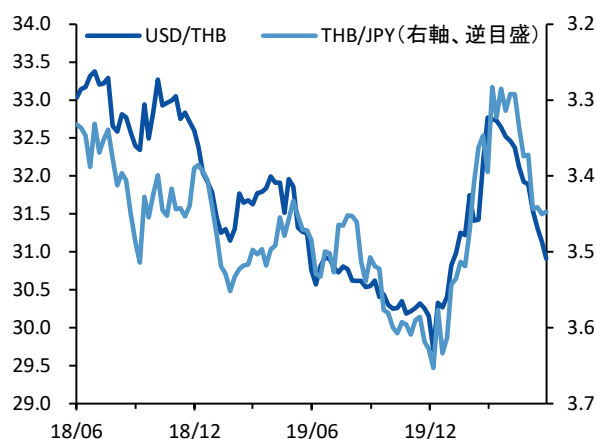
(% YoY)	2019*	2020 ^E		2021 ^E	
		Mar 20	Jun 20	Mar 20	Jun 20
GDP Growth	2.4	-5.3	-8.1	3.0	5.0
- Private Consumption	4.5	-1.5	-3.6	2.1	2.5
- Private Investment	2.8	-4.3	-13.0	2.2	5.6
- Government Consumption	1.4	2.6	3.8	2.2	3.1
- Public Investment	0.2	5.8	5.8	8.1	14.1
- Exports of Goods and Services	-2.6	-16.4	-22.7	5.0	8.4
- Imports of Goods and Services	-4.4	-11.6	-18.9	4.3	7.3
Current Account (Billion USD)	37.9	19.4	15.5	19.2	20.2
- Value of Merchandise Exports	-3.2	-8.8	-10.3	0.2	4.5
- Value of Merchandise Imports	-5.4	-15.0	-16.2	-0.4	4.1
Headline Inflation	0.7	-1.0	-1.7	0.3	0.9
Core Inflation	0.5	-0.1	0.0	0.1	0.1
Assumptions					
- Number of Tourists (Million)	39.8	15.0	8.0	20.0	16.2
- Dubai Oil Price (USD/Barrel)	63.5	35.0	35.1	34.0	37.0

Note: * Outturn, ^E Estimation

** The 2019 outturn is during revision process and will be released on 30 Jun 20

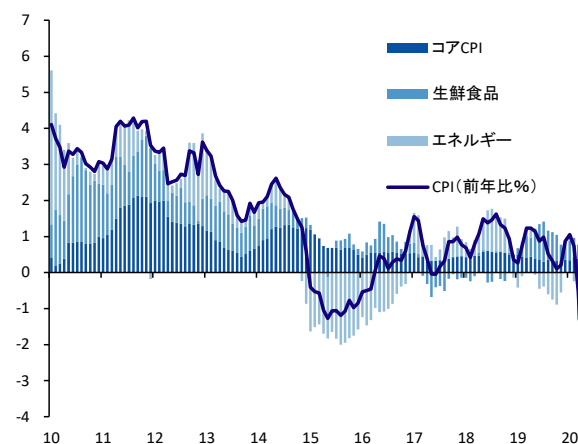
出所: タイ中央銀行

図表 3: THB の為替動向 (2018 年 6 月以降)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 消費者物価上昇率



出所: タイ商務省、CEIC、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。